



【Robertson師のおまけ】先週のメッセージ追加分

A Suggested Pattern For a Ten Minute Prayer Time

(十分間の祈りのためのお勧めパターン Matthew マタイ6:9-14)

- 1) **Read Psalm 103 and ask the Lord to prepare your heart to speak with Him. Address God as your Father. “Our Father who art in heaven.”**

詩篇103篇を読み、主とお話するために自分の心を整えて下さるようお願いしましょう。神を自分の父と呼びかけます。「天にいます私たちの父よ。」

- 2) **Praise the Lord for Who He is and thank Him for what He has done. “Hallowed be thy name.”** 主がどういうお方であるか思い起こし賛美し、してください。感謝しましょう。「御名が崇められますように。」

- 3) **Ask that His will be done in your prayers. “Thy kingdom come, thy will be done.”** 自分の祈りを通して主の御心が行われるように求めましょう。「御国が来ますように。御心が行われますように。」

- 4) **Request help for yourself and those in need. “Give us our daily bread.”** 自分が助けを必要としていること、また他の人々で助けを必要としている人のために願ひましょう。「私たちの日ごとの糧を今日もお与えください。」

- 5) **Confess any known sin and consciously forgive any who have sinned against you. “Forgive us our trespasses as we forgive those who trespass against us.”** 思い出すことのできる罪を告白しましょう。そして自分に対して悪を行なった人を意識的に赦しましょう。「私たちの負い目をお赦しください。私たちが私たちに負い目のある人を赦します。」

- 6) **Submit your mind, will and emotions, your plans and very life**

to God and resist any thoughts that are contrary to His character. “Lead us not into temptation but deliver us from the evil one.”

自分の思いと意志、感情、計画、命そのものを神に差し出し、神のご性質にかなわないあらゆる考えを退けましょう。「私たちを試みに合わせないで悪い者からお救いください。」

- 7) **Thank Him for the assurance of His will being done. “For thine is the kingdom and the power and the glory for ever.”** 神の御心が必ずなされることを確信して先取りして感謝しましょう。「国と力と栄えは限りなくあなたのものでからです。」

- 8) **Now remain quiet before Him and ask if there is anything else that He would like for you to pray about. “He leads me beside still waters. He restores my soul,” (Ps. 23:2).**

ここで主の前に静まり、主が私に祈らせたいと願われることが他にもあるか主に問いかけましょう。「主は私をいこいの水のほとりに伴われます。主は私のたましいを生き返らせます。」

- 9) **Choose to rejoice in God's provisions for you. “Rejoice in the Lord (Ps. 33:1; 30:5).** 自分に対して主が備えてくださるものを、喜ぶことを選びましょう。「主をほめ歌え！」(詩篇 33:1, 30:5)

Your decision: あなたの決心

God, with your help I plan to spend ten minutes in prayer every day! 神よ、

あなたの助けを得て、毎日、祈りのために十分間を費やすことを計画いたします。

【今週の暗唱聖句】 マタイ17:2

彼らの目の前で、御姿変わり、御顔は太陽のように輝き、
御衣は光のように白くなった。

●聖書の中の数人は、直接神を見るという体験をしている。モーセとイスラエルの長老達（出エジプト24:10）、イザヤ（イザヤ6章）、エゼキエル（エゼ1章、10章）。新約ではパウロがダマスコ途上で、ヨハネは黙示録でそれぞれイエスを見ているが、いずれも見た人々に大きな影響が及ぼされた。

●しかし、通常、神はご自身を私たちから隠されるのだ。なぜか。イザヤもヨハネも御座の回りで大声で「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな。昔いまし、今いまし、後に来られる方。万軍の主」と叫び続ける、六枚羽の天使たちも目撃している。ここで分ることは、神が全く聖い方であり、不用意に近づいてはいけない方であるということなのだ。罪人はこの聖いお方の前では一瞬たりとも立ち続けることができない。太陽光を虫眼鏡で集めると紙に書いた黒い点はあつと言う間に燃え上がるが、神の栄光の前で私たちのどす黒い罪は即座に私たちを焼



き尽くす発火点となる。神は私たちが滅びないようにと、ご自身を隠さざるを得ないのである。

●しかし、鏡を考えてほしい。どんなに強い光でも鏡は光を跳ね返し、鏡は燃え尽きない。キリストの聖さ、白さ、輝きこそ、神の焼き尽くす光を跳ね返して私

たちを護ってくれる鏡の役割を果たしてくれるのだ。神が私たちのためにキリストをお送りくださったのは、私たちをご自身の聖さと裁きから護るためだったのだ。

●この地上にいる間、私たちはこのキリストの輝きと白さに護られ、やがて神の御前に立つことができるように「聖化」される過程に入れられている。この地上にいる間、完全にはならないが、罪（自己中心）に対して勝利し、愛に生きることを選ぶたびに私たちは変えられていくのである。そしてこの地上での訓練が終わり、神が私たちを「仕上げてください」私たちもやがて白い衣を着て、神の御前に立つ日が来ること（黙示七章）を忘れることなく、日々を過していこう。■